



〒010-0521 男鹿市船川港
南平沢字上大畑台 30

男鹿市立男鹿南中学校
TEL 0185-23-3241
FAX 0185-24-4947

第210号

“高校球児”から学んだ「諦めない心」と「不屈の精神」

校長 栗森 貢

夏休みが明けた23日、久しぶりに全校生徒と顔を合わせました。坊主頭が長髪になったり、身長が伸び一段とたくましさが増したりと生徒一人一人の変化や成長ぶりがうかがえて嬉しくなりました。

全校集会では、「2週間後に迫った『南光祭』の準備を計画的に進め、昨年よりすばらしい出来映えであったと言われるように、一人一人が当事者意識をもち積極的に取り組もう。」と話しました。

さて、今年の甲子園はいつになく話題性に富み、歴代の記録を更新したホームランの本数や延長戦の多い白熱した試合、そして劇的な幕切れで終わった試合など目が釘付けになるシーンが数多くありました。少しの油断やおごりで勝利がすり抜けてしまったチームや絶体絶命の状況にあっても常に笑顔でチームが一丸となり勝利をつかんだチームもありました。

特に印象的だったのは、大阪桐蔭と仙台育英のベスト8をかけた試合でした。9回裏二死、仙台育英の遊撃へのゴロで万事休すと思われたのですが、一塁手のベース踏み損ねで満塁。そして、途中交代の馬目選手の劇的な二塁打で逆転サヨナラ勝ち。このような幕切れを誰が予想したでしょうか。勝った仙台育英も敗れた大阪桐蔭の選手たちも、現実とは思えぬ夢のような結末で放心状態であったと思います。

仙台育英の佐々木監督は、「9回の守備を終えて戻ってきた生徒たちがこれ以上ない笑顔を見せていて、最後まで諦めていなかったから逆転できた。」と語っていた言葉が印象的でした。

全国3,839チームの頂点に立ったのは、埼玉県代表の花咲徳栄高校でした。投手力と打撃力の両方を兼ね備えたすばらしいチームでした。「何もないところから一歩ずつ築き上げた苦しい道のりであった。」



と岩井監督から聞きました。いろいろな特長をもった選手をチームとしてまとめ上げ、監督もコーチも選手も、辛い道のりをじっくりと駆け上がったところにこのチームの素晴らしさを見た思いがしました。

男鹿南中出身の佐藤光一君も明桜高校のエースとして甲子園に出場しました。惜しくも初戦で敗れましたが、県外出身選手が多い中、よく今まで努力しエースナンバーを獲得したことに敬意を表します。

本校の野球部も5人しかおらず、秋の大会は男鹿南中・潟西中・井川中の3校が合同チームとして出場することになります。一人一人の選手が充実感をもって着実に力を付けることを願っています。

《創立25周年記念事業》

【第4弾】大南光祭 9月3日（日）

9：00～15：00 南中体育館

【第5弾】ミュージカル「オズの魔法使い」

9月13日（水）

13：30～15：00 南中体育館

地域の皆様のおいでをお待ちしております。中学生の活躍する姿をご覧ください。（P2,3参照）

【お礼】大変お世話になりました！

夏休み中、1,2年生の職場訪問や職場体験、3年生や有志による福祉施設のボランティア活動で多くの企業や事業所の皆様からご協力頂きありがとうございました。学校ではできない貴重な体験ができました。社会で生きていくために何が必要かを学んだと思います。感謝申し上げます。